

4. 入学者に関する受入方針、入学者数、収容定員、在学者数

【学校教育法施行規則 172 条の 2 第 1 項第 3 号関係】

<食物栄養学科>

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

本学の教育理念、教育目的、教育目標に共感する以下のような学生を求める。

- (1) 高等学校卒業程度の基礎学力を有し、自分の考えを言葉・文章として表現できる人。
- (2) 食べること、食事を作ること、食に関することに興味がある人。
- (3) 他者と良好な関係を築くことができ、基本的な生活力を持っている人。
- (4) 意欲的にコミュニケーションをとり、協働できる人。
- (5) 食生活と健康に関する専門性を、職場、家庭、地域社会の中で役立てたいと思っている人。
- (6) 栄養士資格取得を目標に勉学する意志がある人。

<幼児教育学科>

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

本学の教育理念、教育目的、教育目標に共感する以下のような学生を求める。

- (1) 幼児教育や保育に対する強い興味や関心と学科教育に対する学習意欲を有している人。【意欲・関心】
- (2) 幼児教育を学ぶために高等学校までの主要科目について、基礎的な知識と学力を有している人。【知識・技能】
- (3) 多様な価値観を正しく認識することで、自分の考えを適切に表現し、他者に対して的確に伝えられるコミュニケーション能力を備えた人。【表現・判断】

<入学者数、収容定員、在学者数> (単位：人)

令和8年5月1日現在					
	入学定員	入学者数	うち社会人学生入学者	収容定員	在籍者数
食物栄養学科	50	52	4	100	99
幼児教育学科	35	21	0	85	37
計	100	66	6	185	136

<専任教員（助手除く） 1人当たり学生数> (単位：人)

	令和8年5月1日現在
	学生数
食物栄養学科	7.6
幼児教育学科	1.6

<収容定員充足率> (単位：人)

	令和8年5月1日現在
	収容定員充足率
食物栄養学科	99%
幼児教育学科	44%

<社会人学生数> (単位：人)

	令和8年5月1日現在
	社会人学生数
食物栄養学科	4
幼児教育学科	0

<留学生数及び海外派遣学生数> (単位：人)

		令和8年5月1日現在
食物栄養学科	留学生数	0
	海外派遣学生数	0
幼児教育学科	留学生数	0
	海外派遣学生数	0

入学者の選抜に関すること

<食物栄養学科> 面接（文章朗読を含む）、小論文の出題意図

- ・食物栄養学科のアドミッション・ポリシーに基づき、出身高校学校長から提出された推薦書および調査書並びに本学で課する小論文・面接により、総合的に判定する。
- ・学力の３要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価する。

[評価の方法]

小論文 ・提出された課題を理解し、自分の考えを論理的に表現しているか。

- ・適切な表記や表現を用いて文章を書いているか。

面 接 ・推薦書や調査書に基づいて、志望動機の確認、高等学校までの様々な活動状況、総合の時間を利用した研究内容等を確認する。

- ・入学後の目標と将来像について確認をする。
- ・文章朗読をする。
- ・栄養士の分野に関する質問。

<幼児教育学科> 面接、小論文、学力試験の出題意図

- ・幼児教育学科のアドミッション・ポリシーに基づき、出身高校学校長から提出された推薦書および調査書並びに本学で課する小論文・面接・学力試験により、総合的に判定する。
- ・学力の３要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価する。

[評価の方法]

小論文 ・提出された課題を理解し、自分の考えを論理的に表現しているか。

- ・適切な表記や表現を用いて文章を書いているか。

面 接 ・推薦書や調査書に基づいて、志望動機の確認、高等学校までの様々な活動状況、総合の時間を利用した研究内容等を確認する。

- ・入学後の目標と将来像について確認をする。
- ・志望理由書による質疑。
- ・幼児教育分野に関する質問。

学力試験 （令和７年度は対象試験に入学志願者がいなかったため、実施していない）

以下のどちらかを選択

- ・国語（国語総合（古文・漢文を除く））
- ・外国語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ（リスニングを除く））

令和 7 年度 小論文課題の出題意図

<総合型選抜>

食物栄養学科 令和 7 年度 (総合Ⅰ期)	【出題意図】 現代社会が抱える多様な背景（性別、国籍、価値観、障害など）を持つ人々に対し、違いを認め合い、対等に共存する視点と、それを支える姿勢があるかを、自身の経験や観察を交えて論じることができるかを問う課題である。
(総合Ⅱ期)	【出題意図】 良好な人間関係を築く目的のために、相手の立場や感情を想像し、安心できるように配慮する心を持ち接することができるかという受験生の人間性、論理的思考力、状況判断能力が具体的に述べられているかを見る課題である。
幼児教育学科 令和 7 年度 (総合Ⅰ期)	【出題意図】 受験者が自身の「得意なこと」を客観的に捉え、それを保育という専門的な将来像に結び付け、論理的に表現できる力を問う課題である。
(総合Ⅱ期)	【出題意図】 受験者が「将来の目標像」を描けるかを確認し、学生生活を「資格取得のためだけでなく、成長の場」として理解しているかを問う課題である。

<学校推薦型選抜> 公募推薦（Ⅰ期）・指定校推薦（Ⅰ期）

食物栄養学科 令和 7 年度 (推薦Ⅰ期)	【出題意図】 若い世代の朝食欠食という社会的問題を認識しているか。生活習慣病リスク、生活リズムの崩れ、栄養バランスの偏り等につながる朝食習慣の欠如を、論理的に改善策が導き出すことができているかを問う課題である。
幼児教育学科 令和 7 年度 (推薦Ⅰ期)	【出題意図】 核家族化、世代間交流の希薄さなどの社会背景を理解し、幼児から高齢者までの双方のメリットを具体的に考え、交流のあり方の提案ができるかを問う課題である。

<学校推薦型選抜> 公募推薦（Ⅱ期）

食物栄養学科 令和 7 年度 (推薦Ⅱ期)	【出題意図】 インターネットを活用した学習における「良い面」と「悪い面」の双方を、具体的かつ客観的に挙げられるか。それ考慮した上で、自身の考え（賛成・反対、あるいはどのように活用すべきか）を、根拠を持って論理的に説明できるかを問う課題である。
------------------------------------	---

幼児教育学科 令和 7 年度 (推薦Ⅱ期)	【出題意図】 地域資源（自然・文化・人材・施設）を具体的に挙げ、それを教育・保育に活かす発想ができるかを問う課題であり、子どもにとっての「豊かな体験」を論理的に述べられるかを見る課題である。
-----------------------------	---

＜学校推薦型選抜＞ 公募推薦（Ⅲ・Ⅳ期）

食物栄養学科 令和 7 年度 (推薦Ⅲ期)	【出題意図】 急速な社会変化（グローバル化、AI 技術、少子高齢化、環境問題等や、性別、年齢、国籍、価値観など異なる背景を持つ人々が共存する社会）において、明確な目的意識を持って行動する力を持っているかを確認する課題である。
食物栄養学科 令和 7 年度 (推薦Ⅳ期)	【出題意図】 サプリメントのメリット、懸念されるリスクについて論じてあり、今後のサプリメントとの向き合い方として、バランスの取れた食生活の重要性、健康に関する意識について等を総合的にみる課題である。

＜一般選抜＞・＜社会人選抜＞

食物栄養学科 令和 7 年度 (一般 A) (社会人 A)	【出題意図】 この分野に興味を持ったきっかけ、何（具体的な科目や活動）を学びたいか、将来学んだ知識を活かして、どのように社会（企業や地域）に貢献・活躍したいか、具体的な職業像を持っているかが、本学のアドミッション・ポリシーと合致しているかを評価する。
食物栄養学科 令和 7 年度 (一般 B) (社会人 B)	【出題意図】 望ましい食生活の知識（栄養バランス（主食・主菜・副菜）、減塩、食物繊維の摂取、食事の時間等）、健康維持において食の大切さに対する理解度を確認し、日々の食生活の中でいかに対策を講じているかの自己管理を行う姿勢を見る課題である。

令和 7 年度 小論文課題

<総合型選抜>

食物栄養学科 令和 7 年度 (総合Ⅰ期)	【小論文課題】 多様性を認める社会とはどのようなことか。あなたの考えを具体例を含め 600 字以内で述べてください。
(総合Ⅱ期)	【小論文課題】 良好な人間関係を築いていくためには「思いやり」が大切であると言われます。あなたにとって「思いやり」とは何ですか。600 字以内であなたの考えを具体例と共に述べてください。
幼児教育学科 令和 7 年度 (総合Ⅰ期)	【小論文課題】 保育の現場では、子どもを大切に思う気持ちを持つことはもちろん、いずれ保育に対する知識や技術が求められます。今現在のあなた自身の得意なことで保育でも活かしていきたいことについて、どのようなことが挙げられると思いますか。理由とともに 600 字以内で述べなさい。
(総合Ⅱ期)	【小論文課題】 短期大学では、資格取得のための勉学のみならず、一人の社会人として自ら成長する大切な機会であると考えられます。この点を踏まえて、あなたはどのような将来像を願い、あなたの良さを活かしてどのような Campus Life（学生生活）にしていきたいと考えますか。600 字以内で述べなさい。

<学校推薦型選抜> 公募推薦（Ⅰ期）・指定校推薦（Ⅰ期）

食物栄養学科 令和 7 年度 (推薦Ⅰ期)	【小論文課題】 健康の維持・増進のために朝食の果たす役割は大きいと考えられますが、近年若い世代で朝食の欠食が問題になっています。このことについて、あなたはどのように考えますか。この問題を解決するための対策も含めて、あなたの考えを 600 字以内で述べてください。
幼児教育学科 令和 7 年度 (推薦Ⅰ期)	【小論文課題】 核家族化が進み、世代（幼少期から老年期）間の交流の場が少なくなってきました。世代を超えた交流は、幼児、老年者、それぞれに良さがあると言われています。この点について、世代間の交流のメリット（長所）、また交流を円滑にするために、あなたが考える具体的な取り組みについて 600 字以内で述べなさい。

<学校推薦型選抜> 公募推薦（Ⅱ期）

食物栄養学科 令和 7 年度 (推薦Ⅱ期)	【小論文課題】 インターネットの普及により、学習面でもインターネットを活用することが容易になりました。学習においてインターネットを活用することについての利点と弊害について、あなたはどのように考えますか。600 字以内で述べなさい。
------------------------------------	---

幼児教育学科 令和 7 年度 (推薦Ⅱ期)	【小論文課題】 幼児期の教育や保育において、地域の自然、地域の人、地域の行事や文化、施設などを活用し、または住んだことのある地域（市町村等）にある、地域環境を幼児期の教育や保育に取り入れたとき、子どもたちにとってどのような豊かな体験が期待できると思いますか。あなたの考えを 600 字以内で述べなさい。
-----------------------------	---

＜学校推薦型選抜＞ 公募推薦（Ⅲ・Ⅳ期）

食物栄養学科 令和 7 年度 (推薦Ⅲ期)	【小論文課題】 近年社会は急速に変化し、多様性の時代と言われています。このような社会状況の中で、あなたはどのような夢をもっているのか、またその夢を抱いた理由、それを実現して行く為にどのような努力をしようと考えていますか。600 字以内で述べなさい。
食物栄養学科 令和 7 年度 (推薦Ⅳ期)	【小論文課題】 健康志向が強まる中で、サプリメント（栄養補助食品）の利用が増えています。あなたは、サプリメントについてどう考えますか。あなたの考えを 600 字以内で述べなさい。

＜一般選抜＞・＜社会人選抜＞

食物栄養学科 令和 7 年度 (一般 A) (社会人 A)	【小論文課題】 あなたは、長野短期大学で何を学び、それを活かしてどのように社会に貢献していきたいですか。600 字以内で述べなさい。
食物栄養学科 令和 7 年度 (一般 B) (社会人 B)	【小論文課題】 健康への関心が高まる中、自分の健康づくりのためにどのようなことに気を付けて食事をしているか。その理由も含めて、あなたの考えを 600 字以内で述べてください。